



2018-19年度ガバナー
村井 総一郎



インスピレーションになる

2018-19年度R.I.テーマ
R.I.会長 バリー・ラシン

Weekly report

例会日 第一・第三木曜 12:20-13:30
事務局 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402
例会場 TEL 052-253-7821/FAX 052-253-7820
ホテルナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121
〒451-8551 名古屋市中区樋の口町3番19号



District 2760
Nagoya Miyanomori
Japan

第61回例会

2019年6月6日(木)

司会進行 野村 治 会場運営委員
国歌斉唱「君が代」、「四つのテスト」唱和

会長挨拶

奥村 与幸 会長



皆さん、改めまして、こんにちは。いよいよ6月となり、私の会長としての務めも残すところ、あと一ヶ月となりました。次回の例会は、夜間例会となりますので、お昼の例会としては今日が最後となります。前回の例会では、これまで1年間に亘って、お付き合い頂いた会長挨拶の中での「ロータリーお話」を総括しました。今日は、この1年間の私の思いをお話して、お昼の例会の最後のあいさつとしたいと思います。しばらく、お付き合いください。

さて、私が会長をお引き受けすることについては、正直、当初はお断りをしました。その理由としては、①社業が変わって間もないこともあり、社業に専念する必要があること。そして、②何よりもロータリー経験が全くなく、組織を束ねることなど不可能であること。と考えたからです。しかし、このホテルの一階のティーラウンジで、諸先輩方に囲まれ前述の理由を縷々(るる)述べたのですが、最後はがぶりよりをされてしまいました。

そこで、私はエレクトの期間中、この方(酒井直前会長の写真)の後ろ姿をずっと見つめてきました。その中で、半年も過ぎた頃から、酒井会長の言動の根幹にある「考え方」・「理念」を探すようになっていきました。そして、今日初めて申し上げることなので、誤解があればご容赦頂きたいのですが、私の行きついた答えは、若いこのクラブの成長のために、「ご自身が、どのように役立つのか」「何を、なすべきか」をお考えになったのではないのか、というものでした。そして、クラブのために成された具体的な例を一つだけあげれば、法律家として知識・経験を活かし当クラブの「定款」「細則」「規則」などを体系的に整備して頂きました。

そこで、私は、今年度の「クラブ会長の年度計画及び目標の要点」を、「継続！そして深化へ！！」としました。もう、お気づきの方もお見えになると思いますが、何を継続させるのか、そして何を深化させるのかと言う私自身への課題は、酒井直前会長の「考え方であろう」と推察した「このクラブのために、自分自身が何ができるのか」を継続させ、深化させようというものでした。そして、「行動指針」で「今年度も(ロータリーの)基本理念や歴史、目的などを更に学ぼうと考えています。私も率先垂範する所存です。」と述べました。それに従い、私ができることとして、自分で調べた「ロータリーのお話」を1年間続けてきました。少しは、お役に立ちましたか？他のロータリーの例会に参加された方は、感じられたと思いますが、このような会長挨拶は、稀有な挨拶だと思います。

また、金沢さんが働きやすい労働条件となるよう、酒井直前会長にご指導いただきながら、新しい就業規則も作成してみました。ここには、フレックスタイム制や育児休職制度なども取り入れていますので、金沢さんがご結婚、ご出産されても働いていただけたらと思います。私が支えて頂いたように、これからも新しい会長・幹事をサポートしてください。一年間お世話になりました。(金沢さん写真)

不慣れな私が、よちよち歩きながら会長職を務めることが出来たのは、周りの皆さんに支えて頂いたからです。まずは、この方(遠山さんの写真)とこの方(増田さんの写真)に感謝申し上げます。わからないことを丁寧に指導いただき、時には「辛口」のコメントも頂戴しました。おかげさまで、少しはロータリーンとしての知識が身についたかもしれませぬ。ありがとうございます。そして、この方(佐野副会長の写真)とこの方(鈴木幹事の写真)に感謝申し上げます。佐野副会長には、私の代わりに行事に出席頂くのに

に加え、私の目の行き届かないところをサポートして頂きました。そして、鈴木幹事には、実務をほとんどお任せしてしまいましたが、キッチリと取り廻して頂きました。ありがとうございました。そして、拓ちゃんからは、ロータリーンとしての「寛容」の精神を学ぶことができました。(寝坊をする絵)ありがとうございました。

本来であれば、お一人ずつにお礼の言葉を申し上げなくてはならないのですが、時間の都合もあり、最後にクラブの全ての皆さん(クラブの集合写真)のご支援とご協力に感謝をいたします。皆さんのおかげで、大過なく会長の任期を終えることができそうです。本当にありがとうございました。(スペシャルサンクス)

出席報告		高木俊郎 出席委員	
	会員数	出席数	出席率
当日(6/6)	43	27	62.8%
前回(5/23)	43	30	69.8%
	会員数	修正出席数	修正出席率
前回(5/23)	43	43	100.0%

ニコボックス報告

高木俊郎 出席委員

マギー審司さんをお迎えして。 奥村与幸

マギー審司さんをお迎えして!!今日はよろしくお願ひします。

鈴木拓将

浅井さん、寺西さん名古屋宮の杜ロータリーにようこそ。今日は楽しんで下さい。寺西さん、PC200-11納車ありがとうございます。

牧野敬充

新入会員候補者の堀江大介さんと例会出席です。 遠山堯郎
久しぶりです。 大口弘和

クラブ戦略会議、有意義な意見交換ができて良かったです!

大谷まさみ

水野君ごめんなさい。

加藤謙一

幸せ薄い人生なので、幸のお裾分けあまり出来ません。

酒井俊皓

第61回例会を祝して

現 玉園陽子 樋口昌男 河合秀紀 河村直樹 佐野洋一郎

浅野信 出口茂 永田聡子 高木俊郎 高山純平 田中吉彦

R情報委員会より報告

田中吉彦 R情報委員

～「ロータリーの友」おすすめページ～

①P15(P62)【例会で「君が代」合唱の始まりは?】

本日も君が代を歌いました。当クラブは、ロータリーはなぜ歌を歌うのかを会長挨拶で勉強しました。ソング系の皆様と共にここは外せないところだと思い紹介しました。

②P20【米山梅吉は本年生誕151年を迎えました】

3月より委員長に拝命した為、最後に爪痕を残したいと思います。米山氏は日本にロータリーを発足させたレジェンドです。ご自身のことをあまり語らない方で色々な伝説があるそうです。本当か嘘か分からないような話が書かれております。是非ご一読ください。ちなみに、米山奨学基金とは日本に来た留学生に日本の良いところを知って頂き、母国へ帰って頂く為の基金です。

RCC(OKUDA弁慶号)より報告

野村治 RCC委員

6/2(日)@岐阜県 養老公園 キッスパラダイス

(堀場委員長より参加報告)

設営大変との事でした。お手伝いのスタッフは沢山いましたが高齢の方が多くみえました。みなさん楽しそうで、笑顔が印象的でした。また、ロータリーの旗、大変喜んでらっしゃいました。

幹事報告

鈴木拓将 幹事

●6月ロータリーレート1\$ = 110円

●第15回日韓親善会議が9/28(土)@仙台国際センターにて開催されます。興味のある方は事務局へご連絡ください。

●6/19(水)@日本ラインゴルフ倶楽部にて第9回名宮会(会長杯&次年度初CUP)の開催致します。明日が回答期日です。是非ご参加ください。

- 昨日定款・細則の改正についてご連絡しております。ご意見のある方は6/19(水)までに事務局へご連絡ください。
- 本日例会前に次年度予定者理事会を開催致しました。例会後には第12回定例理事会を開催致します。
- 次回例会6/20(木)18:00～@ホテルナゴヤキャッスル1階「シャンボールの間」にて下期納会となっております。定款・細則の改正について臨時クラブフォーラムも開催します。

卓話「東日本大震災復興支援活動について」 マギー 審司 氏



今回初めて人前で手品せずお話をします。ただ、一度だけ出身地である宮城県気仙沼市での1時間の講演会へ出演依頼がありました。当時32～3歳で、人生を語ってくれればよいとのことでお受けしましたが私の人生は10分程で終わってしまい、残りの50分は手品をしたという経験はございます。その為、お話だけというのは初めてです。

今回は震災のことを主にお話したいと思いますが、まず始めに簡単な自己紹介をします。出身は宮城県の気仙沼市で、実家は電気屋を営んでおります。時々、マギー司郎氏を本当の父だと間違われることがありますが、父はその電気屋にいます。高校卒業後にはその電気屋を継ぐ予定でしたが、父の知人に海外に姉妹店をもつ寿司屋さんがおり、一度外で勉強したら？ということで、その寿司屋でアルバイトをして日本を外からみるという経験をさせてもらいました。今では「uh-huh」と「oops!」の記憶しかないほど、英語が話せなかった僕は、興味を持ってマジックを使いました。海外の寿司屋は日本人が立っていれば、とりえず説得力があるみたいなどころがあり、日本の寿司屋はシャリ切り3年と言われておりますが、僕は3～4日目にはカウンターに立って寿司を握っておりました。カウンターには僕とマネージャーと立っていたのですが、僕は英語が話せないのでマネージャーの方ばかりにお客さんは座ります。ただ、ある日僕の前に親子が座りました。その時に手品をやってみたら子どもがすごく喜んでくれて、次来た時も「なんかやって！」と言って僕の前に座りますが、僕もネタがなくなってきてしまいました。それをきっかけにその子どもたちを喜ばせる為だけに必死で手品を勉強し始めました。またある日、いつもどおり手品をしていると一人だけあまり動かない人がいました。その人はもっとすごい手品を知っていて、やって見せてくれました。やり方を聞くのはプライドが許さず、自分で研究してできるようになったものをその人に見せてみると、もっといいやり方があると教えてくれ、それ以降毎週会うようになり、覚えた手品を子どもたちに見せて…という繰り返しの日々を過ごしたことがマジックの原点です。

日本に帰ってきて、笑っていいとも！の「君こそなんでも日本一・マジック大会」という素人コーナーのオーディションを受けに行きましたが、落ちました。帰ってテレビを見たら、僕よりも下手な人が出演しておりました。そこで、技術より見せ方や面白さが重要だということに気がおきました。そこで、アメリカで買った帽子をかぶって、とにかく目立つ格好をして少し笑いのある手品をしたらオーディションに合格しました。出演後は地元でスター扱いです。これが人生1回目の天狗になりました。

その後は実家の電気屋で働きながら手品をやっておりましたが、気仙沼市では手品の道具が手に入らず、道具が売っている仙台のお店まで通っておりました。ある時、そのお店の店長さんに「僕、マギー司郎さんの手品好きなんですよね、弟子とか難しいのかな」と言ってみると、「連絡してみたら？」と言われ、日本奇術協会の名簿に載っている連絡先を教えてくださいました。教えてもらった自宅の住所に自分の連絡先と書き書いたハガキを送りました。すると、「一度話だけでもしてみよう？西武新宿駅前のルノールという喫茶店まで来れる？」と電話があり、会う約束ができました。約束の時間より1時間程前に着いてずっと待っていると、マギー司郎さん本物が表れました。その時、すぐにお土産を渡したのですが、気仙沼市が一番美味しいものをお土産にしたいと思い、めかぶを持っていきました。その時は普通に受け取りましたが、今だに「お土産にめかぶはないんじゃないの？」と言われます。そして、「この後営業あるけど着いてくる？」と言われ、埼玉の体育館まで着いていきました。そこには2000人程の観客が入る大きな会場でした。実際に見てもらおうと笑っていいとも！で着た衣装と、いくつかネタを持っていったのですが、「なんか衣装持ってたよね、出てみる？」と言われ、急遽出演することになりました。師匠のネタ中2000人の観客は大爆笑でした。

途中で紹介されてラッキーという動物の人形が体中を走り回るネタをやりました。無言で永遠とラッキーを走らせると2000人がシーンと静まりかえってしまい、師匠に小さな声で「それ、落ちは？」と言われ、「落ちとかないです。」と答えると、「これだけだそうですね、こんなもんですよ、じゃあ僕手品します。」と続きまた会場が盛り上がりました。そこで、手品の技術だけでなく手品以外のことが重要だということにまた気づかされ、手品以外の部分を師匠からたくさん学びました。そこから、崩して笑いをメインに活動していき、マギー審司という形が出来上がりました。

また何年か経つと手品が必要になってくるのです。手品師だからこれくらいはできるだろうと言われるようになります。そこでお世話になったのが、名古屋栄錦3丁目のマジックバー“モメントス”です。本日、オーナーの伊賀奈さんにも来て頂いております。伊賀奈さんからたくさん手品を教えてください、今でもなんとか手品師として成立しております。

少し遠回りしましたが、やっとここで震災のお話をしたいと思えます。震災があった2011年3月11日の前日、僕は俳優の村田雄浩さんなどとボーリングをしておりました。ボーリング好きな芸能人を集めてチームを作って、トーナメントをしていたのですが、盛り上げた為ユニフォームを作ったり、マイボールを作ったりしておりました。そのボールを作る為に業者さんに問い合わせしていた時、少し揺れた気がして、「地震ですかね…？」と話していたら、電話の向こう側は大慌てになり、電話が切られてしまいました。その時、品川駅の改札にいたのですが、建物から出てくださいというアナウンスが流れました。待ち合わせ相手のマネージャーとはなんとか落ち合いましたが、電車が止まってしまい、仕事もどうするか連絡待ちでした。地元のことを気がかりだった為、車でニュースを見ながら待機しました。震災直後、弟から「僕が生きている時代にこんなことがあるなんて…家族は皆、高台へ逃げました。無事です。」と一報あり、それきり一切連絡が取れなくなりました。それからずっとテレビで情報を入力しておりましたが気仙沼市のことは全然流れず、大したこともなかったのかとも思いました。家に着いてテレビをつけると、やっと気仙沼市の映像が流れました。全面火事でした。こういう時って涙が出ないんですね。そんな広い土地でない為、家族も友人も思い出も全てなくなったと放心状態になりました。それから、ブログに「おばあちゃん残念でしたね。」というコメントがあり、半信半疑でしたが、色んな人と連絡を取れるようになって、事実であることが分かりました。しかし、僕はもう全滅だと思っていたのでその時も涙がでませんでした。2～3日後の新聞に「マギー審司、家族は無事」という記事があり震災後の父の写真が載っておりました。その時の僕にとっては亡くなった祖母のことよりも家族が一人ずつ生き返ってきた感覚でその喜びの方が大きかったのです。祖母以外の家族の無事は確認ができた時、祖母の亡くなった悲しみがどっと押し寄せました。それ以来、「本当にいつ何が起るか分からない、今日を大事にしよう。」と毎日思うようになりました。

気仙沼に行きたい！と強く思いましたが、交通手段がなく行く事ができません。僕に何ができるだろうと一生懸命考えていたら、ロンプーの淳さんが、渋谷で支援物資として乾電池と懐中電灯とタオルを募集する活動をしておりました。あまり面識はありませんでしたが、そこへ駆けつけました。その時に写メを撮ったり笑っていたりする人を見て、「あ、笑っていいんだ。」と思いました。それまでは何もしたらいけない、自分だけお風呂入っていいのか、ご飯食べていいのかと同じ立場で考えようとしておりましたが、ある人に「溺れている人を助けるのに、自分が溺れていたら助けられないでしょ。」と言われ、助ける為にはまずは自分が健康で、元気で、笑っていなければいけないと思い直しました。そこで元気になる支援活動しようと思い、ボーリングをチャリティ活動にすることにしました。村田雄浩さんがすごく心配していただき、色んな芸能人の方が集まってくださいました。その大会では参加費1,000円/人、外来語を話すと100円/回を募金としております。参加者も金額も減り、続けるのが厳しいと思った時期もありましたが、これは風化することが一番よくない、継続が大事だと思いつても続けております。金額は微々たるものですが、続けること、それをSNSなどで拡散することによって、まだ東北には頑張っている人たちがいっぱいいることを伝えていきたいという思いで行っております。集まったお金は用途に合わせて支援をしております。例えば、洋服屋が復活することになった際、支援物資で洋服が送られてくると洋服が売れなくなる為、その洋服屋で洋服を買って、支援物資として置いてくるなどです。

最後に、今東北が一番必要としているのは観光客だそうです。「支援金を送る」ではなく、家族旅行、社員旅行などで行って、遊んで、お金を使って頂ければ、一番東北のためになります。東北には本当にいい人がたくさんいるので是非行ってみて頂ければと思います。

東北は今、大分起動にのってはいませんが、復興にはまだ3～5年程はかかると思います。皆様からも何かの形でご協力をお願いできればと思います。本日はありがとうございました。

次回例会【第63回通常例会】

日 時： 7月4日(木) 12時10分～13時30分
会 場： ホテルナゴヤキャッスル3階「萩の間」